

平成29年度第1回パートナー県政推進会議の開催結果について

平成29年 8月
県 民 課

「県政は県民のパートナー・地域のパートナー」であることを原点として制定した鳥取県民参画基本条例の基本理念に基づき、県政への県民意見の反映や県民と県政との協働のあり方について議論を深め、施策の改善を検討するため設置された「パートナー県政推進会議」の第1回目の会議を開催し、鳥取県の元気づくり施策の深化について意見交換を行いました。

1 日時・場所

- (1) 日 時 7月30日(日) 午後1時30分から3時30分まで
- (2) 場 所 ホテルモナーク鳥取
- (3) 出席者 委員17名、知事、元気づくり総本部長ほか

2 主な意見等

課題	意見
若者の転出超過対策	<ul style="list-style-type: none">・鳥取には何もないと本県出身者は言うが、魅力に気づけていない。鳥取がステキな場所である、という教育が必要。・人口減により、優秀な人材を複数の地域でシェアする社会になっていくと考えている。都会で生活していても地元のために何かしたいと考える人が活動しやすい環境作りが必要。
子育てしやすい環境づくり	<ul style="list-style-type: none">・中部地震のときは職場が住居と離れていたの、子どもの事が心配だった。そんなとき、近所のつながりが本当に大切だと思った。・森のようちえんは2歳から子どもを預かっているが、子育て世代からは1歳から預かってほしいという要望がある。以前から自治体に相談しているが、ハードルが高く困っている。
雇用のミスマッチ解消・雇用環境の整備	<ul style="list-style-type: none">・求職に際しては、給料や休暇といった情報だけでなく、その仕事を選ぶことでどう自己実現が出来るのか、といった情報がほしい。・農業等人材不足分野でAIを活用するためには専門家が必要。これにより人がやることが変わるが、こうしたことを次世代の子どもに伝える必要がある。発想力の学習が必要。
外国人旅行者の誘客促進	<ul style="list-style-type: none">・駅に案内があるにはあるが、海外用の表記が無く、迷っている外国人が多い。また、路線バスの乗車場までの行き方が分かりづらい。
農業所得の向上	<ul style="list-style-type: none">・周りを見渡すと農業の後継ぎがいない。今から人材育成をしないと廃れる。
その他の意見	<ul style="list-style-type: none">・移住希望者は多いが、空き家はあっても貸してもらえず、住む家がないのが現状。・鳥取は車も人も少なく道は良い。ツーリングに適しており、サイクリングだけではなく、ライダーの聖地を目指してはどうか。

3 今後の予定

会議でいただいたご意見等について、委員の皆様とやりとりをしたのち、第2回会議(11月開催予定)において、議論を深め、県施策等に反映させる予定です。

【会議の様子】

